

平成十六年度

修士論文・卒業論文題目

大学院文学研究科

〈歴史学専攻〉

笠原 愛古 ノルウェー中世初期における王

権の形成過程

真弓 雄三 一八二七年チエロキ族の憲法

制定と合衆国チエロキ族

石丸 尚 中世ドイツの公共浴場

小沢 健一 漢代春秋学の変遷

佐藤 紘希 義和団 ― 現在までの研究史と

諸点についての考察 ―

〈文化財学専攻〉

堀田 頼明 神戸市立博物館、狩野内膳筆南

蛮屏風の模写と描かれた西洋船

の研究

矢野 雅子 稲荷谷近世墓地から出土した寛

永通寶の鉛同位体比分析

伊藤 彰浩 隔絶地域に立地する重伝建地区

の存続に関する研究 ― 宮崎

県椎葉村十根川地区の事例 ―

伊藤友美子 肥後の特徴的出土遺物からみる

豊後とのかわり ― 手鎌を中

心として

入川 正弘 大分県の近代化遺産より考察す

る大分県の地域的特性

末吉 一志 琉球弧における豊作祈願の信仰

と祭り

田中健一郎 肥前北部における中世山城

と佐世保地区の中世城郭の一樣

田中 陽子 中世における王権と芸能

相

鶴田 貴大 市来式系土器による地域間交流

の復元

手柴 智晴 古墳の立地及び石室形態からみ

る一地域の様相 ― 筑後川中

流域南岸から耳納山麓を例とし

て

原山 智沙 熊本・大分における菓子地域

性に関する研究

福原 凡香 英年写し花鳥画の修復

熊野造の伝播とその背景

野村 智史 日本近世陣屋の研究

史学科

〈日本史専攻〉

朝川 貴俊 大分県の大正期の中等教育

と臼杵町を中心として

阿野 卓也 福来友吉と千里眼事件

安部慎太郎 昭和初期から終戦までの呉海軍

の動向

阿部 大輔 海援隊 ― 日本初の総合商社

阿部 将宏 小倉祇園からみる民衆の生活と

城下町形成

有川 徹 毛利元就

池田 博史 秀吉と光秀が織田家に仕え、そ

の後に

伊東 京子 「薩長同盟」についての一考察

と坂本龍馬の役割を中心として

今田 充晴 明治後期の出版統制 ― 大逆事

件を中心として

岩切 大輔 天正遣欧少年使節団について

岩村 太志 ポーツマス講和会議と小村寿太

郎

植山 千尋 本能寺の変の黒幕について

浦野 花菜 御陵衛士の研究 ― 新選組離脱

から油小路事件までを追う

江口 慎也 いわゆる蝦夷共和国について

とその国家的性質

- 大石 哲平 安土城築城について  
 大西 均 染物業大西家の歴史  
 大野 祐司 徳川幕府成立について  
 大本 和史 明智光秀と本能寺の変  
 緒方 伸哉 小林寿太郎の研究  
 片岡 大輔 伊予国と河野一族について  
 加藤健太郎 幕末京都における新選組の治安維持  
 鐘ヶ江房子 日韓戦後外交史 〓日韓基本条約締結まで〓  
 河野 順也 湯布院観光と今後の展望  
 河村 喜一 日本海海戦の勝利と東郷平八郎  
 神田 英嗣 鎌倉期における婚姻形態と婚姻後の女性の役割  
 北林信太郎 文禄・慶長の役について  
 木津 恒治 終戦への道筋  
 木村 太陽 死と墓の受容の変遷 〓死体・墓への畏れと墓参〓  
 河野 祥恵 落窪物語に見る平安貴族の生活様式 〓寝殿造の空間の使用方法〓  
 古賀 咲代 時宗の地方展開 〓『一遍聖絵』からみる九州遊行〓  
 児玉 治好 上方酒造業の経営状況の変遷 〓輸送形態を中心に〓
- 後藤 与学 剣術における流儀の発生と流れについて 〓柳生を中心に〓  
 佐伯 昌彦 織田信長と女  
 坂口沙耶花 晩年の宮本武蔵について  
 坂本誠一郎 江戸時代の徳川家康について  
 重富 洋行 今川氏の外交政策 〓戦国期における国外への侵攻〓  
 田尾 友美 北条政子について 〓政治家・母としての側面と評価〓  
 高杉 世界 明治中期の陸軍軍制改革と月曜会事件について  
 高橋 正稔 前田利家と天下人について  
 高畠 由子 白杵の城と城下町について  
 高松 美和 宇和島城について  
 竹崎 善明 太宰府と観世音寺について  
 竹下 泰輔 西南戦争 〓田原坂を中心に〓  
 田島 隆仁 島津氏の九州統一について  
 田中 裕子 日露戦争報道と日比谷焼き討ち事件  
 塚田由佳里 皇室の歴史 〓美智子妃殿下の新皇室づくりを中心に〓  
 堤 裕貴 小友時代の全様  
 藤 政広 上杉憲美について  
 中家 洋介 宇佐航空隊の研究  
 中嶋謙太郎 毛利氏と広島城について
- 中島 新市 大分銀行の休業と大分合同銀行の成立  
 中野 正裕 幕末期の鍋島佐賀藩における新田開発の研究 〓犬井道・大詫間村の干拓事業を中心に〓  
 中野 由英 徳川家康について  
 西山 友夏 水戸学と芹沢鴨  
 野田 一宏 巖島合戦における村上氏  
 野間 聡 近世久留米の商家文書より見る水運史  
 原 透 明治から大正期にかけての日本人の生活  
 原口 りえ 薩摩焼と朝鮮出兵について  
 樋口 公輔 武田軍の戦略と戦術について  
 平岡 寛大 アジア太平洋戦争中の日本の宗教政策 〓天理教を中心に〓  
 廣瀬 伸也 田原坂周辺地域に住む人々の被害とその保障  
 福島 啓人 政党政治の成立 〓原敬を中心に〓  
 福永 一秀 近世後期における灌漑水利の研究 〓豊後国溜池をめぐって〓  
 藤井 彬江 江戸時代の食文化  
 古田 翔 熊本城と加藤清正について  
 前山 太志 北九州市誕生の研究

榊重 卓宏 河童の成立

増田 研亮 桂女からみる女性の生産労働と社会的役割

社会的役割

松川 清香 府内藩の災害復興対策について

十九世紀を中心として

松本 一路 特攻隊の研究

三嶋 章弘 武田信玄と上杉謙信

峯 幸裕 蒙古襲来に対する鎌倉幕府の対応

応

宮地 孝輔 太平記の中に出てくる刀剣

村上 翔一 別府八湯の過去・現在・未来

森 孝幸 坂本龍馬と海援隊 経済人と

としての坂本龍馬

安田 節子 近世期の豊後国における浦辺の

人々の生活

山鹿 勝廣 戦国大名毛利氏について

山南 陵 戦国時代の天才織田信長

山本 常彦 日米開戦への道程

吉野美智子 田中角栄の研究 LOCKYード

事件を中心として

吉村 大樹 鎖国制について

若林 竜二 幕府歩兵隊 戊辰戦争以前を

中心として

渡辺 一史 関ヶ原合戦と両軍の戦略

渡邊 権嗣 近衛兵の歴史

〈東洋史専攻〉

有銘 淳 後漢王朝の対羌政策とその背景

池邊 大輔 曹操 そのイメージ像から実

際像へ

井本 吏沙 十字軍がイスラム世界に及ぼし

た影響

因 雄一郎 東南アジアのイスラーム

大西 裕之 タイの歴史

小野 蓉子 スカルノを通して見るインドネ

シア独立運動

蒲原 大樹 チベット仏教の伝播

北 誠 南宋末官界についての一考察

久保 智 モンゴル軍の中東遠征

久保 優也 魏晋における旧蜀漢人士

小島 崇寛 大航海時代の香料諸島の交易

佐藤 拓未 欧米とパレスチナ・イスラエル

重山智恵子 バンテン王国の歴史

柴伐喜八郎 劉備の官僚集団について

高柳 知子 シヴァ信仰発展から見るインド

社会の特性

中島 優理 イスラム世界における奴隷制

中村 隼 中国と朝鮮戦争

新名 慶大 石油国家クウェートの動乱及び

諸国情勢

西村美紗子 補陀落渡海の交渉史

野中 神陽 日本の南進政策と列強政治

橋本 崇彦 武士道の存在と歴史

福岡 静 明清景徳鎮窯 御器廠の運営

形態

藤本 英明 太平天国とキリスト教

本田 尚志 ヴェーダとウパニシャッドの哲

学

本田 真莉 『史記』における孟嘗君像

宮本 大資 玄奘三蔵の旅

宮脇 健 李朝鮮の対外交政策

森 藍子 五四運動期の「マルクス学説研

究会」について

安原 大和 桓公時代の斉について

湯地 貴洋 曹操政権の構成について

吉田 真二 蜀漢政権の荊州人士と益州人士

竜円 理美 西晋における権力闘争

渡辺 浩平 ベトナムの植民地化

渡邊 恭行 中東における宗教の民衆に与え

る影響

〈西洋史専攻〉

飯田 弘美 アレクサンドロス大王の遠征

江下 栄朗 ナチスドイツのオーストリア併

合

越智 亮太 カトリック・ド・メデイシスの

宗教政策と宗教戦争 ヽユグノ  
ーを中心にく

甲斐 俊介 南北戦争と黒人差別

倉重 史子 イギリス植民地インドのアング  
ロ・インディアン

藏重由美子 オランダ独立戦争とオラニエ公  
ウィレム

古賀 久士 第二次世界大戦時のIRA

竹尾 翔作 シャンポリオンとヒエログリフ

田中 亜樹 コンスタンティノープルからイ  
スタンブルへ

田中 徹 ドイツにおける第一次大戦期の  
ロシア戦略について

富永 邦広 ハドリアヌス帝の都市建設

直野 美穂 ニグロ・リーグの成立と消滅

永野 華愛 前四世紀マケドニア王国の対ギ  
リシア政策

中村 健彦 中世のサンティアゴ巡礼

則信あすか 共和政ローマと凱旋式

林田 宝士 ドイツ騎士修道会と十字軍活動

比嘉 優花 末期プロトレマイオス王朝とロー  
マ ヽクレオパトラ7世を中心  
にく

牧山美保子 古代アテナイの家族 ヽ家族と  
にく

女性

松山 亨 ハプスブル家とウィーン

村上 孝司 前二世紀におけるローマの対カ  
ルタゴ政策 ヽ第三次ポエニ戦  
争の原因について

山下 真一 フランス革命と民衆運動

山見 春菜 インディアンとアメリカ独立革  
命

〈世界文化史専攻〉

伊藤 貴洋 南九州における土偶

上原 翔平 考古学から見た原始古代の水の  
祭祀

片岡 洋一 古典期マヤ社会における星戦争

川合 良彦 敗者が見る新大陸征服

後藤 崇文 ケツアルコアトルの実像

仲里 陽光 琉球王朝とグスクについて

名切 寿光 斧の変遷

西川 貴浩 九州の環濠集落における環濠と  
溝内出土遺物について

松川 大介 琉球王国と城(グスク)につい  
て

山中 慎也 古代から現代における弓矢の変  
遷

文化財学科

〈考古学・埋蔵文化財専修〉

石川 慎 修復材料としての合成樹脂の特  
性と耐久性

井上真由美 西北九州産黒曜石の遠隔地(大  
分県・熊本県)における流通  
ヽ後期旧石器時代から縄文時代  
晩期にかけての交易

今城 健治 北部九州における縄文時代の食  
文化 ―貝塚が語る縄文時代  
の食べ物―

岩下 昂介 宗像における渡来人に関する考  
察

鶴久森 彬 東九州における槍先形尖頭器の  
様相

大豆生田真幸 山口県地方における複合口縁壺  
の成立に関する一考察 ―西  
部瀬戸内地方・北部九州を中心  
として―

沖田 陽一 黒曜石の化学組成とそのバラツ  
キについて

沖野 誠 船野型細石核の伝播 ―東九州  
と四国西南部の関連性―

沖野 実 四国西部におけるナイフ形石器  
文化期の様相

小田 貴志	屋外文化財の劣化状況調査	齋藤美奈子	青銅器の鉛同位体比	夜の遺跡群について
小田原寛朗	弥生陶土員の研究 ―地域性と形態的変遷について―	汐月 彰紀	西日本における縄文時代の植物質食料	塚本 秀行 柳川市の町並みの保存と活用 ―文化財・クリークを中心として―
笠木 将士	水中考古学について ―歴史と技術―	島浦 健生	菊池川流域の装飾古墳について	津野 博昭
梶山 隆志	城跡からみる文化財保護と都市景観 ―鹿児島市の文化財保護と問題―	下釜 崇徳	西北九州における百花台型台形石器の様相	徳留 浩之 知覧麓の町並み保存
片山 幹生	近世の豊後街道とその遺跡 ―大津町を中心に―	神野 彰	東予の古墳 ―新居浜の金子山古墳を中心に―	中村紀美子 文化財保存における温度・湿度環境
川上 正大	山口県の遺跡 ―そこからわかる歴史・国土と形態―	杉野 貴幸	筑後川上流域における古墳 ―日田地区の装飾古墳からみる古代日田―	西嶋 武晴 古代の鍍金技法について
川口 雄也	九州の細石刃 ―細石刃製作技術による相違―	高瀬 豪介	副葬遺物から見た階層性について ―弥生時代の早良平野を中心として―	野口 成美 本草書からみる江戸期の薬事情
喜田須弥子	大分の古墳 ―大分の川を中心にして―	高田 昇	北部九州における弥生勾玉の分類	橋口 拓也 隼人族、古墳時代の隼人と大和政権について
木村 勤	大分県に伝わる玖珠神楽	田代 眞吾	甕棺からみた文化交流 ―吉野ヶ里遺跡と玄界灘沿岸―	林 圭一郎 横穴式石室の成立と展開 ―北部九州を中心として―
木村 有喬	測定試料面が蛍光X線分析に与える影響について ―主に古銭を用いて―	田辺 恭一	白村江の戦い ―その実態を文献・遺跡から考察する―	原 彰吾 有機質の付着した金属製遺物の保存処理
久保 修平	古墳時代における筑後川支流広川流域の首長の性格と動向	谷山 修一	宗像市における鉄製刀子についての研究	原田 充 近代文化遺産としてのレンガ造建築 ―長崎と門司における修理・保存の経緯―
小川 剛志	遺跡からみる古代の祭祀 ―群馬三ツ寺I遺跡を中心に―	谷山 貴彦	屋外における金属製文化財の保存修復	藤井 雄太 弥生時代の九州における鉄戈の意義
		榑木 厚志	糸島平野における伊都国成立前の	藤崎 大地 装飾古墳における大陸系画題について ―竹原古墳を中心として―
				古木 正毅 九州における縄文時代貝塚出土の骨角器についての考察

- 牧野 紋子 出土水浸木材のPEG浸透速度について
- 松尾 崇司 古墳時代の三次盆地
- 松田小百合 黄公望「富春山居図巻」の模写
- 松田 雪風 肥後地方の装飾古墳に見る図文の変遷と地域性について
- 松村 秀憲 大和政権と高知県のつながり
- 松本さやか 歴史的建造物の移築保存 〓社寺建築を中心として
- 松元 友美 我が国における古代の土専仏  
—宇佐虚空蔵寺跡を中心とする土専仏—
- 水口 大輔 甕棺墓から見る弥生時代の子ども 〓その墓域と死亡率について
- 水元 康喜 古墳時代の日向地方 —西都原古墳群から見ると—
- 宮本 隆志 葬送儀礼と仏教思想
- 本村 幸代 北部九州における弥生時代の絹織物についての一考察
- 森 敏彰 文化財の保存修復へ応用された接着剤の歴史の変遷
- 森山 詠司 邪馬台国と九州説における亀塚古墳との関係
- 安永 恵 菊池川流域における古墳群について —江田船山古墳と大和朝廷との関係—
- 山田 哲也 古代豊後国海部郡について 〓海部地域の隆盛と海部郡の姿
- 吉内 育美 『風土記』に見える土蜘蛛伝承について 〓肥前・豊後を中心にして
- 吉田 智昭 日向延岡地方における古墳の階層性
- 淀川奈緒子 鉛同位体比を用いた弥生時代青銅器の研究
- 脇木美智子 南九州の定住性について
- 〈環境歴史学・民俗学専修〉
- 安部 孝寛 府内藩における浜の市研究 〓府内藩記録を中心に
- 新井 克志 植生地理学と歴史地理学の接点 〓「景観」研究を取り巻く問題点と今後の可能性
- 池野 祐治 田の神信仰から見た山と里の交流史 〓鹿児島県の田の神信仰
- 池本 篤 大和政権と地方豪族の結びつき —周防国造を中心に—
- 磯部 永幸 西瀬戸地域と大友水軍の動向
- 江口 康次 大分県の河童と民俗
- 姥原 由加 不思議なチカラ 〓身近な人を中心として
- 木下 勇 豊の文化史 〓日本人の生活と豊
- 串間 聖剛 小倉藩における山林資源の利用をめぐる
- 國政 晶子 塩田津の町並み —まちづくりと伝建制度を活かした町並み保存について—
- 窪 佐知子 近世史料に見る温泉と紀行文集成
- 久保 武士 平安時代の人々の生活と陰陽道
- 倉田 辰徳 矢上町史蹟名勝と歴史 〓史蹟・名勝を中心とした歴史探訪
- 古賀 直美 大川市の地藏信仰 —木室校区を中心として—
- 坂元 甲 付喪神に見る人間心理 —百鬼夜行における妖怪の根本イメージをもとに—
- 佐藤美津枝 三佐の祭り 〓男達の熱い2日間 〓歴史と起源、そしてこれからのために—
- 田中 理恵 アンコール遺跡の保存修復について

- |       |                                      |       |                                 |
|-------|--------------------------------------|-------|---------------------------------|
| 谷山こず恵 | 照明器具 〓江戸時代を中心として                     | 福岡 良紘 | 生目信仰の成立                         |
| 津田 太  | 近代化遺産の現状とこれから<br>―機関庫保存活動を通して―       | 藤川 培  | 宮島 〓舞楽と信仰を中心とした宮島の展望            |
| 寺岡雄一郎 | 荘園公領制下の宇佐宮領の構造<br>―封郷・本御荘・常見名―       | 細井 雅希 | 武術の杖と祭りの杖 ー大分県における杖の現状と人々の想い―   |
| 豆成 聡太 | 境界<br>〓あの世とこの世の境目                    | 堀 大輔  | 中世野津におけるキリスト教導入と在地信仰の比較研究       |
| 富山 千尋 | 国東半島に於ける庚申講 〓香々地町域を中心に               | 松井 勝吾 | 長洲町と金魚                          |
| 豊田沙和美 | 環頭大刀からみた九州 古墳時代の様相                   | 松本 美文 | はなしのはなし ー文化史的精神的考察―             |
| 中村 裕也 | 観世音寺の歴史をその仏像から                       | 三谷 紘平 | 石の文化誌 〓別府市域の中世石造文化財             |
| 西川 慎一 | 九州・沖縄における伝統的狩猟の儀礼                    | 宮木 香織 | 気候環境の変動と病の関係                    |
| 呑田 潤也 | 鉄輪のくらし                               | 毛利 祥子 | 肥前鳥居の研究 ー佐賀県巖木町内の肥前鳥居を例として―     |
| 林 歩見人 | 平成大合併の現状                             | 矢須田 衛 | 龍神と人々 〓龍と人々はどのように生きてきたのか        |
| 早田 紘子 | 近世末期 肥後天草における文芸活動の研究 ー和歌・俳諧活動を中心にして― | 吉岡 慎弥 | 近世後期の小倉藩の検地 〓安武手永袈裟丸村検地帳の分析を中心に |
| 稗田 優作 | 「かつちん とつぱん」と笑いについて                   | 吉原 史朗 | 小倉祇園太鼓の歴史と今と周辺の祇園祭りについて         |
| 廣畑 公紀 | 別府湾の沈んだ島の伝説について 〓「瓜生島」伝説を中心として       | 和田 光恵 | 比較文化論から見た日本神話 〓神話における死後の世界      |